



中央
看護部長
西元千代さん

副看護部長
小澤いくこさん

新人教育委員会
左から
池田真規子 主任
河野千尋 主任
大田さえ子 主任
宮下ゆみ子 師長

新人教育委員長
中山久美子 師長

おもてなしと思いやりの看護を提供するために 看護部の教育体制と新人教育の紹介

高齢者が増え続ける現代、看護師不足は今や社会問題となっています。

そんな時代の中で今期も22名の新人看護師を名古屋記念病院に迎え入れました。

地域に密着した安心で安全な医療を目指す名古屋記念病院が、

愛情を込めた質の高い看護の提供のために取り組んでいる看護部の教育体制と新人教育のお話を

看護部長、教育担当副看護部長、新人教育委員会の皆さんにお聞きました。

—名古屋記念病院看護部の理念と目指す教育は。

看護部長 『おもてなしの心で患者さんに安心と満足を提供します』これが看護部の理念です。名古屋病院の理念である『私たちは、優しさと安らぎを提供し、地域の皆様から信頼される病院を目指します』に基づいています。この理念を達成していくためには、看護師の人材育成・人材教育が重要です。管理者であっても研修等に参加し、学習し続けています。看護師である以上は、生涯教育を受け、常に看護者として成長を続けていくという状況をつくっています。

—看護師への教育はどのように進めますか。

看護部長 小さい頃からの夢が看護師という人もいますが、学校の成績が良く

親や先生のすすめで、なんとなく看護師になる人も多いのが現状です。そんな背景ですから「看護師っていいね、素晴らしい」「本当だ、本当だね」と思えるように、経験してほしいと思います。そうしないと、「実際に仕事をしてみて気づいた、看護師って辛い」「看護師は二度とやりません」と言ってやめていくことになってしまいます。だから、看護師としてやりがいを持ち、更にどうステップを踏ませていくかという課題まで現場の看護師たちは背負っています。

副看護部長 具体的な教育システムは年ごとにレベルを積み上げていく年次別教育という体制です。以前は看護協会が推奨している自分のペースに合わせてステップアップしていくシステム(ラダーシステム)でしたが、いろんな事情・理由で一定のレベルで留まったままの人が増える現象

が起きましたので、2015年から年次別教育に変えました。長く看護師を続けていくために3年間の基本・土台づくりをしていく教育をすることです。

中山師長 実は学校を卒業して看護師免許を取得しても、入職時に「自信をもってやれます」というのは主に、シーツ交換だけということも聞いています。学生時代に学んだ知識や実習と、臨床とのギャップに戸惑い、とてもショックを受けるようです。ですから1年目の前半はとにかく職場に慣れるとともに、気持ちを強く持って、起こってくる事態に対してへこたれない精神を培います。技術というトレーニングはその上でいきます。

新人育成としてプリセプター制度があります。新人と先輩(プリセプター)がマンツーマンで一緒に業務を行い、基本の手順を

入職式では緊張しましたが、交流会では和気あいあい。



指導し、先輩自身もマニュアルが理解できているかどうかの確認になるため、共に成長していくことのできるシステムです。看護師は3年目になるまでが苦しいので、「辛いよね、本当に大変。私もそうだったよ」と気持ち共感できる3年目くらいの先輩が担当し、主に精神面を支えます。

—看護師の教育の基本は？

宮下師長 初めて社会に出る人たちのなかで、看護師の教育と共に社会人としてのマナーや接遇も基本です。私たち看護師は看護が業務ではありますがサービス業です。「おもてなしの心で」を基本に看護部全員で患者さんを大切に、ご家族の方も大事にとの教育をしています。

—新人の集合教育はどのようにしていますか。

河野主任 2週間の集合研修は「振り返りの研修」として、一度学習していることを思い出し、考えさせる時間を設けるようにして指導しています。

大田主任 実際に使用している物品に触れながら「こうするために、この技術が必要なのだ」という理由づけをしてから学ぶ講義・技術研修を計画しています。

池田主任 集合研修で学んでから病棟に



2週間の集合研修では学んだ知識と臨床を結ぶ教育を心がけています。

今期入職した皆さんが揃っての新人研修ではコミュニケーションや接遇など「おもてなしの心」について学びました。



行ったときに、できなくても一つでも「分かった」というものがあるように、不安を取り除いてあげられるように関わっています。

副看護部長 手順が違うとリセットされてしまう新人がいますので、学生時代に学んできたことの延長線にあることを伝え「ゼロからでない」「学生時代に自分たちがやってきた3年間、4年間が決して無駄ではない」と自信が持てるように指導してもらっています。

看護部長 医療現場では患者さんの状況が刻々と変わるので、立ち止まって一つひとつ丁寧に教えることは困難です。ですから、「今日はこんなことがあったね」と現場教育の中で1日の振り返りを行い、学びの時間として先輩たちが声掛けをしています。

—厚生労働省が示す看護師の新人教育のガイドラインがありますね。

看護部長 当院も使用しています。

中山師長 各部署に新人教育に使うツール・書式で、自己目標、月別目標指導など目に見える形で残っていくような様式です。これを踏まえて順次ステップを踏み、年間の目標に到達することができるように計画性を持って進めています。



—看護師の生涯教育をしていく中に専門性というのが位置付けられますね。

看護部長 看護師は免許をもらった段階で、看護師の責務が課せられます。「看護者の基本的責務」というものがあり、そこには生涯教育の在り方や専門職の役割として看護を探究・研究するという文言が入っています。私たちはそれを全うするよう指導し教育しています。

—名古屋記念病院の看護部教育の特徴は。

看護部長 アットホームな対応で人を大事に育てていこうとする気持ちを忘れず、共に学ぶ姿勢を持って関わっているところです。地域に根ざしている病院なので、地域の患者さんたちが入院されます。「患者さんに寄り添った看護がしたい」ということで新人看護師の皆さんが名古屋記念病院に集まってきています。この思いを看護の実践につなげていくというのが大事なことだと思います。

大きな病院や高度医療病院では、広いこともあり、看護師の姿が見えず、あちこち探さないと見えないことも多いです。その点、名古屋記念病院はこじんまりしています。患者さんの食事の介助やさまざまなケアをする上で、いつも近いところに看護師がいます。アットホームなこの距離感が自慢です。

—患者さんや地域社会へのアピールポイントは何？

副看護部長 地域の人たちに頼られる病院でありたい。地域の人たちに信頼される病院でありたい、というのは病院運営の基本です。それを目指して、私たちは毎日の人材育成や自分たちのスキルアップに励んでいます。